

II 普及活動

1 美術講演・講座

講演講座を実施することにより、美術に対する理解を深め、教育普及に資するとともに展示事業の広報にも役立て、県民の美術への親しみや関心を高める。

(1) 講演会

| 開催日 | 会場 | 講演名 | 講師 | 内容 | 参加人数 |
|---------------------|------------|---|--------------------------|--|------|
| 2021(令和3)年 11月5日 | アルス ホール | 渋沢栄一を描いた画家 石橋和訓 ー二人の交流を通してみる明治期の政財界と美術ー | 林みちこ (筑波大学芸術系 准教授) | 明治期にイギリスのロイヤル・アカデミーに留学した島根県出身の洋画家石橋和訓(1876-1928)と、支援者であり肖像画の顧客であった実業家渋沢栄一(1840-1931)との交流を通して、20世紀初頭の画壇と政財界との繋がり、美術における「男性同盟」形成の背景を読み解いた。 | 42 |
| 合計 | | | | | 42 |

(2) 土曜講座

| 開催日 | 会場 | 講演名 | 担当 | 内容 | 参加人数 |
|---------------------|------------|------------------------------|------------------------------|--|------|
| 2021(令和3)年 4月24日 | アルス ホール | オールドノリタケと若林コレクション | 芦刈 歩 (茨城県陶芸美術館 学芸員) | 多種多彩な意匠、技法、器種のオールドノリタケを網羅する若林コレクションを、さまざまな視点から紐解き、その魅力に迫った。 | 93 |
| 5月22日 | アルス ホール | 日本画の150年 明治から現代へ | 今瀬佐和 (茨城県近代美術館 美術課長) | 伝統を基盤としながら革新的な試みが続けられてきた日本画の明治、大正、昭和、そして平成へと至る歩みをたどった。 | 43 |
| 6月19日 | アルス ホール | 筑波大学 日本画 コース 40年を 振り返る | 井野功一 (天心記念五浦美術 首席学芸員) | 筑波大学芸術系の日本画コースは、県内唯一の日本画の専門教育機関として、多くの作家、教師を輩出してきた。歴任教員8名を紹介し、その軌跡を振り返った。 | 53 |
| 7月31日 | アルス ホール | 夏企画テーマ「土 イジリ」 | 岩井基生 (茨城県陶芸美術館 主任学芸主事) | 陶磁器の材料である粘土の最大の特長は、可塑性といわれる「ものをカタチづくる」性質だ。開催中の展覧会にちなみ、「のぼす」「積む」「曲げる」「切る」など「土イジリ」をキーワードに、現代陶芸の「カタチ」を紹介した。 | 24 |
| 8月14日 | — | いわさきちひろ の作品と生涯 | 吉田衣里 (茨城県近代美術館 首席学芸員) | ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止 | — |
| 9月11日 | — | ひろがる墨 ー五彩に出会う | 塩田稔雄 (天心記念五浦美術 館学芸員) | ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止 | — |

| 開催日 | 会場 | 講演名 | 担当 | 内容 | 参加人数 |
|--------------------|--------|---|-------------------------------|---|------|
| 10月30日 | アルスホール | 美一響くー コレクション名 品選 | 松尾敦子 (天心記念五浦美術 館主任学芸員) | 横山大観、板谷波山ら茨城ゆ かりの作家の作品をはじめ、 「こんな作品も茨城に!？」と いう視点で、明治から現代ま での京都画壇の作品、白髪一 雄や鈴木治などの関西出身の 前衛作品も紹介した。 | 27 |
| 11月13日 | アルスホール | 上田薫とリアル な絵画 | 乾 健一 (茨城県近代美術館 学芸員) | 上田薫(1928ー)は、殻から 落ちる生玉子など身近なもの をリアルに描くことで知られ ている。上田の仕事为代表的 なシリーズによって振り返る とともに、他の作家による作 品も交えて、リアルな絵画表 現の豊かな世界を紹介した。 | 28 |
| 12月11日 | アルスホール | 開館20周年記念 事業笠間陶芸大 賞展の全貌 | 飯田将吾 (茨城県陶芸美術館 主任学芸員) | 茨城県陶芸美術館の20周年を 記念して開催される公募展 「笠間陶芸大賞展」。入選作や 入賞作を紹介しながら、現代 のやきもののもつ魅力と、バ ラエティに富んだその展開に ついて紐解いた。 | 32 |
| 2022(令和4)年 1月8日 | アルスホール | 国宝修理の実際 一新納忠之介「日 記」をひもといて | 中田智則 (天心記念五浦美術 館企画普及課長) | 岡倉天心から国宝の仏像修理 を任された彫刻家・新納忠之 介は、仏像調査のことを日記 に残した。調査内容や修理に 至る経緯などを知ることがで きる日記の一端を紹介した。 | 26 |
| 2月12日 | アルスホール | 北澤美術館名品 展 エミール・ ガレとドーム | 岩井基生 (茨城県陶芸美術館 主任学芸主事) | 日本有数の「ガラスの美術館」 として知られる北澤美術館の 名品を紹介する展覧会にちな み、エミール・ガレとドーム 兄弟のガラス作品の魅力につ いてお話した。 | 50 |
| 3月12日 | アルスホール | 降り注ぐ光のも とで一ランス美 術館コレクション に見るフラン ス近代風景画の 魅力 | 澤渡麻里 (茨城県近代美術館 首席学芸員) | シャンパンや大聖堂で有名な フランス・シャンパーニュ地 方の古都ランスに建つランス 美術館。同館のコレクション により、コロー、バルビゾン 派から印象派に至る19世紀フ ランス風景画の流れを紹介し た。 | 50 |
| 合計 | | | | | 426 |

(3) ビデオ鑑賞会

| 開催日 | 会場 | 鑑賞会名 | タイトル | 参加人数 |
|---------------------|-----|---------|---|------|
| 2021(令和3)年 5月15日 | 講座室 | 世界・美の旅① | ルノワール ～世紀末の女たち～ ゴッゲン ～野性へのあこがれ～ ミレー ～種まく人は今～ | 25 |
| 6月26日 | 講座室 | 世界・美の旅② | プルシャンプルー ～世界を巡った謎の青～ ラファエロ ～聖母子の画家とその恋人～ ゴッゲン ～魅惑のマハ～ | 19 |
| 7月24日 | 講座室 | 世界・美の旅③ | ルーベンス ～ネロの愛したルーベンス～ フェルメール ～静寂のフェルメール～ ブリューゲル ～風景画にひそむ寓意～ | 18 |

| 開催日 | 会場 | 鑑賞会名 | タイトル | 参加人数 |
|---------------------|-----|---------------------|---|--------|
| 8月28日 | — | 世界・美の旅④ | ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止 | — |
| 9月25日 | — | 世界・美の旅⑤ | ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止 | — |
| 10月23日 | 講座室 | 世界・美の旅⑥ | ラ・トゥール ～甦った光の画家～ クリムト ～愛と幻想のウィーン～ ムンク ～叫びに込めたメッセージ～ | 17 |
| 11月27日 | 講座室 | 世界・美の旅⑦ 美の美シリーズ① | クレー ～色彩の管弦楽～ カンディンスキー ～抽象画の騎士～ アングル/ドラクロワ | 15 |
| 12月18日 | 講座室 | 美の美シリーズ② | セザンヌ/コロドー/ミレー/クールベ マネ/モネ | 16 |
| 2022(令和4)年 1月22日 | 講座室 | 美の美シリーズ③ | ゴッホ ロダン/ロートレック | 14 |
| 2月26日 | 講座室 | 美の美シリーズ④ | ファン・アイク/ブリュッゲル ボッティチェリ/フィリッポ・リッピ/ カラバッジオ | 22 |
| 3月19日 | 講座室 | 美の美シリーズ⑤ | ミケランジェロ/ラファエルロ/ フラ・アンジェリコ グリューネヴァルト/メムリンク/ファン・ デル・ウェイデン/フェルメール | 18 |
| | | | | 合計 164 |

(4) ワークショップ

| 開催日 | 会場 | 講座名 | 講師 | 内容 | 参加人数 |
|---------------------|-----|------------------------------|---------------------------|--|-------|
| 2021(令和3)年 7月22日 | 講座室 | 「石ころ絵画」 | 山田光子 (ボランティア) | アクリル絵の具やポスカなどの画材で、石ころの形に合わせて想像した絵を描いた。 | 50 |
| 9月18日 | — | 「手染めで自分だけのオリジナルトートバッグをつくろう！」 | 川田栄子・ 福島喜代 (ボランティア) | ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止 | — |
| 11月6日 | 講座室 | 「毛糸玉でぼんぼんリースをつくろう！」 | 大井真希 (会計年度任用職員) | 小学3～6年生を対象に、毛糸玉や松ぼっくりなどの素材を使って、ワイヤーリースを飾り付けした。 | 20 |
| | | | | | 合計 70 |

(5) イベント(貸ギャラリー利用者による展示室でのギャラリートークなど)

| 開催日 | 会場 | 展覧会名 | 内容 | 講師 | 参加人数 |
|------------------------------------|------------|--------------------------|------------------------|--------|--------|
| 2021(令和3)年 5月18日～5月23日 | 展示室 | ふるきよき尖端(モダン)のためのオマージュ | お客様参加型カラー ジュワークショップ | 新井大気 | 95 |
| 6月27日 | 展示室 | アートウェーブつくば第26回展 | ギャラリートーク | 渡邊晃一 | 31 |
| 2022(令和4)年 3月8日～3月11日、 3月13日 | アルス ホール | 第21回チャレンジアートフェスティバルinつくば | パフォーマンス映像 作品の上映 | 出品者 | — |
| 3月12日 | アルス ホール | 第21回チャレンジアートフェスティバルinつくば | マリンバコンサート | 倉田沙紀 | — |
| 3月12日 | 講座室 | 第21回チャレンジアートフェスティバルinつくば | アートワークショップ | 安部田そらの | 30 |
| | | | | | 合計 156 |

(6) その他(茨城県つくば美術館主催の展覧会など)

| 会期 | 展覧会名 | 展示内容 | 入場者数 |
|-------------------------------------|--|--|--------|
| 2021(令和3)年 4月23日(金)～ 5月29日(日) | 名作日本画レプリカ展 一天心記念五浦美術館日 本画トランクより | 天心記念五浦美術館が教育普及教材として保有している日本画トランクを紹介する展覧会。日本が世界に誇る掛軸、絵巻物、屏風のレプリカを展示した。また関連の映像等も借用しビデオライブラリーコーナーを設けて上映した。 | 1,210人 |
| 7月20日(火)～ 7月25日(日) | 複製画と解説パネルで紹介する 茨城と日本画 ー中世から近代までー (茨城県近代美術館アー トフォーラムより) | 茨城県近代美術館で開催された企画展「日本画の150年 明治から現代へ」にちなんでアートフォーラムに展示されたパネルや複製画を、茨城県つくば美術館で展示した。茨城県ゆかりの近代の日本画家に加え、その源流ともいえる中世・近代に活躍した茨城出身の水墨画家たちについて紹介した。また、日本画の制作方法についても、画材とともにパネル展示した。 | 516人 |
| 9月28日(火)～ 10月24日(日) | 世界の名作 複製画展 ー茨城県近代美術館所蔵 の複製画よりー | 本館である茨城県近代美術館が教育普及資料として保有している世界の名画の複製画を紹介した。ルーヴル美術館肖像作品11点と、その他3点を加えた14点の複製画を展示した。 | 1,892人 |
| 11月9日(火)～ 11月14日(日) | ポスターで観る コロナ禍での美術展覧会 | 令和2年度から令和3年度上半期までに、全国で開催予定されていた美術展覧会のうち、当館に送られてきたポスター約280枚を展示した。コロナ禍で中止や延期、また、その他の影響を受けた美術館のポスターを紹介した。 | 313人 |
| 12月7日(火)～ 12月12日(日) | 世界の名作 複製画展 印象派・ポスト印象派の 画家たち(オルセー美術 館編)ー茨城県近代美術 館所蔵複製画よりー | 茨城県近代美術館が教育普及教材として保有している、世界の名画の複製画の中から、印象派とポスト印象派の画家たちの作品を紹介する展覧会。オルセー美術館所蔵作品の複製画を中心に展示した。また、当館所有のオルセー美術館のビデオを上映した。 | 405人 |
| 2022(令和4)年 2月1日(金)～ 2月6日(日) | つくば美術館 企画展を振り返る I (1990年ー1999年) | 当館がこれまで行ってきた企画展を振り返る展覧会。ポスター・チラシ・図録の他、当時の記録写真等を展示した。今回は第1弾として、開館から10年間の企画展を紹介した。 | 299人 |
| 合計 | | | 4,635 |

2 お絵かき・美術図書ライブラリー（講座室）

「美術図書ライブラリー」では、当館が所蔵する県内の県立美術館や全国の美術館図録を誰でも自由に閲覧できる。また、子供たちも一緒に楽しめる幼児や小学生用の画集、絵本、図工書を備えた書架があり、それらを参考に自由にお絵かきができるブースを設置している。その他に、職員で作成した塗り絵があり、子どもを中心とした多くの人に利用されている。

総利用者数 60人

3 ホームページ(<https://www.tsukuba.museum.ibk.ed.jp/>)

●概要

美術館利用者の利便を図り、美術館の情報を発信することを目的としてホームページを作成し、展覧会やイベント案内、貸ギャラリー等の利用案内に関する情報発信を行っている。作成は職員が行っており、毎週内容を更新するとともに、必要に応じて情報を発信している。

●ページ構成(令和3年3月現在)

①トップページ

- ・展覧会のお知らせ
- ・今後の展覧会のお知らせ

- ・おうちで遊ぼう！つくぞうぬりえ
- ・イベント情報
- ・美術館からのお知らせ

- ②貸ギャラリー
- ③スケジュール
- ④展示室利用案内
- ⑤土曜講座
- ⑥ビデオ鑑賞会
- ⑦美術講座・ワークショップ
- ⑧その他の展覧会
- ⑨施設紹介
- ⑩利用案内・地図
- ⑪過去の企画展
- ⑫つくぞう&つくみの部屋
- ⑬問い合わせ

●関連リンク

- つくば美術館公式Twitter
- いばらきの美術館・博物館
- いばらきチャットボット 県立美術館

●アクセス数 33,204件

4 メールニュース

美術館の展示内容を紹介するニュースレターを、展覧会ごとに希望者に配信している。ホームページの美術館からのお知らせ欄から申し込みを受け付けている。令和4年3月現在、54名に配信している。

5 広報活動一覧

各種広告媒体を活用し、美術館及び美術館活動に対する理解を深めるとともに、来館者からの意見・要望を広く聴取し、美術館運営の参考とした。

| 区分 | 内容 | 参考 |
|--------------|--------------------------------|---|
| 印刷広報 | ・2021年度展示予定表 | A4(巻三つ折)：15,000部 |
| 県広報媒体利用による広報 | ・県教職員広報誌「教育いばらき」 ・県広報紙「ひばり」 | 県内各学校及び全教職員を対象に配布 新聞折込(全戸配布) |
| 報道機関等への情報提供 | ・記者クラブ、支局等への資料提供 ・取材協力、中継協力 | ・貸ギャラリー関連 (茨城新聞 2021(令和3)年4月14日付) (茨城新聞 6月3日付) (茨城新聞 7月2日付) (朝日新聞 7月3日付) (茨城新聞 8月4日付) (茨城新聞 10月8日付) (読売新聞 11月12日付) (東京新聞 11月12日付) (読売新聞 11月19日付) (茨城新聞 11月22日付) (朝日新聞 12月18日付) (茨城新聞 2022(令和4)年1月14日付) (茨城新聞 いばらき春秋 1月30日付) (朝日新聞 1月15日付) |

| 区分 | 内容 | 参考 |
|-------------|--|---|
| 報道機関等への情報提供 | <ul style="list-style-type: none"> 記者クラブ、支局等への資料提供 取材協力、中継協力 | <ul style="list-style-type: none"> 土曜講座関連 (読売新聞 2021(令和3)年4月16日付) (茨城新聞 4月20日付) (読売新聞 6月18日付) (茨城新聞 10月6日付) 美術講演会関連 (茨城新聞 6月3日付) (読売新聞 12月10日付) ビデオ鑑賞会関連 (読売新聞 2022(令和4)年2月25日付) |
| 出版社等への情報提供 | <ul style="list-style-type: none"> 資料提供 | <p><主な掲載紙></p> <ul style="list-style-type: none"> 常陽リビング 常陽藝文 新美術新聞 <p><主な掲載紙></p> <ul style="list-style-type: none"> 美術の窓 月刊美術 |

6 広報印刷物

- ・展示予定表 2022(令和4)年3月
- ・美術講演会チラシ 2021(令和3)年11月
- ・「石ころ絵画WS」チラシ 2021(令和3)年7月
- ・「ぼんぼんリースWS」チラシ 2021(令和3)年11月
- ・「名作日本画レプリカ展」チラシ 2021(令和3)年4月23日(金)～5月9日(日)
- ・「複製画と解説パネルで紹介する 茨城と日本画」チラシ 2021(令和3)年7月20日(火)～7月25日(日)
- ・「世界の名作 複製画展」チラシ 2021(令和3)年9月28日(火)～10月24日(日)
- ・「ポスターで観る コロナ禍での美術展覧会」チラシ 2021(令和3)年11月9日(火)～11月14日(日)



展示予定表



美術講演会チラシ



「石ころ絵画WS」チラシ



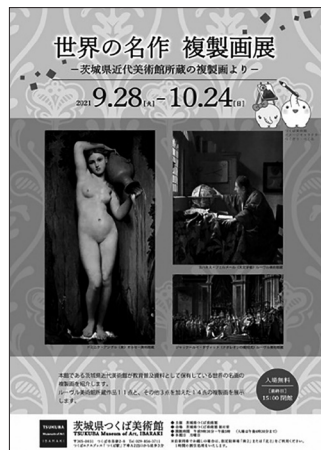
「ぼんぼんリースWS」チラシ



「名作日本画レプリカ展」
チラシ



「複製画と解説パネルで
紹介する 茨城と日本画」
チラシ



「世界の名作 複製画展」
チラシ



「ポストカードで観る コロナ禍
での美術展覧会」チラシ

Ⅲ 図書その他の資料収集

| 種別 | 令和2年度まで | 令和3年度 | 総数 |
|-----|---------|-------|-------|
| 図書他 | 8,273 | 100 | 8,373 |

Ⅳ 協力活動

1 ボランティア活動

活動内容毎にグループを組織し、年間計画表に基づき、協力し合って活動している。

●ボランティア登録者

16名

●主な活動内容

- ①土曜講座補助
- ②ワークショップ等補助
- ③つくば美術館主催展覧会受付

2 学校及び関係機関との協力

①筑波大学

講演会「渋沢栄一を描いた画家 石橋和訓
—二人の交流を通してみる明治期の政財界と美術」を開催。

②つくば市

つくばメディアアートフェスティバルを開催。

③つくば文化会館アルス議会

文化会館アルスの運営と地域文化振興のため、つくば市立中央図書館とアルス協議会を開催。

④その他教育機関

茨城県高等学校総合文化祭美術展覧会を開催。